

## 第60回 馬路町民大運動会

10月12日(日)亀岡市制70周年記念事業・第60回馬路町民大運動会が開催されました。60回目となることを記念して、事前にプログラムと共に記念タオルを配布しました。

オープニングは、曇り空のもと、亀岡のマスコットである明智かめまるくん、「かめまる体操キャラバン隊」の登場で、一緒にかめまる体操を行いました。

競技は、大勢の参加のもと歓声と笑顔で進行しました。午後のプログラムでは「馬路町ウルトラクイズ」を行い馬路町の豆知識に触れていただきました。

湧き起こる歓喜は、そよぐ秋風と共に、馬路の空に舞い上がり、先人達の元に届いたのではないのでしょうか。ご協力ご参加ありがとうございました。(人見典子)



## 第35回 馬路町文化祭

11月2日(日)第35回馬路町文化祭が開催されました。晴天に恵まれ朝早くから家族連れ等、多くの来場者がありました。野外ブースでは、うどん、餅、ぜんざい、炊き込みご飯、フランクフルトやフライドポテト、手づくりコーナーや野菜市等の販売。ポップコーンやたこせん、めだかすくいには多くの子ども達が集まり、小さな子ども達からご高齢の方までゆっくり買い物や食事を楽しんでおられました。カボチャ重量あてクイズ、ビンゴゲームやイントロ歌あてクイズには、多くの方に参加して頂き、たいへん盛り上がりしました。屋内では花苗の配布や喫茶コーナー、展示室では、町民の皆様の力作が並び、足を止めて感心しておられる方や小さなお子様が自慢げに親御様に作品を見せておられたのが印象的でした。大賑わいの文化祭「楽しかった」と言う声も頂きありがとうございました。今後も町民の皆様の積極的な参加をよろしくお願いします。(笠松広子)



## 馬路ふれあいサロン

馬路ふれあいサロンが開設された趣旨は、長年住み慣れた馬路町で健康で元気にいきいきと生きがいを持って充実した生活を続けられるように、高齢者同士の交流ふれあいの機会を提供し、楽しいひと時を過ごしていただきたいために開設されました。

令和7年度第一回目のふれあいサロンは5月16日(金)に開催、1部は亀岡子どもの本研究会の皆さんに「勘平さんものがたり」の紙芝居で郷土かめおかの偉人 石田梅岩先生の功績をわかりやすく説明していただきました。2部ではリハビリデイサービス いろは代表の服部博幸さんによる健康体操(頭の体操)で楽しみました。

第二回目は10月24日(金)に開催、並河たき子さんを講師に新聞紙でつくる「柿の木のちぎり絵」を作製、参加の皆さん思い思いの構図で仕上げていただきました。ビックリするような作品が勢ぞろい。文化祭にも出品展示していただきました。

第三回目は12月5日(金)に、亀岡市健康増進課の保健師さんと栄養士さんによる「お口の機能について」お話いただきました。元気に生活していく上で、人と楽しく話をしたり、おいしく食事をしたりと、口は元気の源です。

今年度最終第四回目は、1月30日(金)に神ひろみさんの歌謡ショーと3B体操、お二人の飛び入り歌声披露。歌あり、おしゃべりあり、健康体操ありと、参加の皆さん全員元気をもらっていただきました。(名倉勝香)

### 第四回



### 第一回



### 第二回



元気をもらった3B体操

### 第三回



神ひろみさんからのロールケーキプレゼント抽選会

## 馬路町人権研修会

12月6日(土)午後1時30分より馬路生涯学習センターにおいて、令和7年度馬路町人権研修会を開催しました。戦後80年となる今年、広島県より「被爆体験記 朗読ボランティア」の堀益芳子さま、大島都志さまにお越しいただき、原爆を体験された方の「体験記」や「詩」を朗読いただいた後、参加者も朗読をしました。悲惨な光景や、一瞬にして家族が目の前から消えてしまった方々の辛いお気持ちは想像を遥かに超えるもので、衝撃を受け、体がこわばるような感覚になりました。

今の平和な日本に暮らせていることのありがたさや世界平和を改めて考える良い研修会になりました。



午前8時15分

(中澤千裕)